

~愛しているから守りたい~

VOL.1

ゆんたく シーサー

ゆんたくとは、
沖縄の方言で
「おしゃべり」
のことです。



沖縄が危ない!
迫り来る中国の真実



基地があるから
『危険』なのではない
基地があるから
『守られている』!

沖縄を守るために
立ち上がろう



ファイナル・ジャッジメントが描く未来



愛する私たちの沖縄を守りましょう！

美しい島、沖縄。エメラルドの海に囲まれた平和で穏やかなこの島に中国の侵略の危機が目前まで迫っているということを、一体誰が想像できるでしょうか――。

多くの県民が望んでいる〈沖縄の未来〉は、「基地のない沖縄」であり「米軍の撤退」であろうと思います。しかし、もしも今、本当にそれが実現したら、いったい沖縄はどうなるでしょうか。

米軍がいなくなれば、その「力の空白」を埋めるようにやってくるのは、中国の人民解放軍です。「基地があるから戦争に巻き込まれる」ので

はなく、「米軍基地があったから、これまで沖縄は他国の侵略から守られてきた」のです。これが真実です。

一人でも多くの県民がこの「沖縄侵略の危機」に気づくためには、沖縄の新聞の情報に頼るのではなく、正しい情報を得ることが大切です。その思いで、このフリーペーパーを創刊いたしました。

愛する私たちの沖縄を守り、本当の平和に手に入れましょう！



1950年、チベットに突然4万人もの人民解放軍が侵入し、全土を占領した。ほとんど軍隊を持たなかったチベットは瞬く間に侵略され、中国の自治区となり、70年間に120万人以上が虐殺された。現在、チベット人たちは、宗教も歴史も文化も否定され、土地も人権も言葉も奪われている。

幸福実現党 出版局長

矢内筆勝

contents

1. comic

「沖縄が危ない！
迫り来る中国の真実」

2. 沖縄を守るために
立ち上がろう

金城竜郎

3. 基地があるから
『危険』なのではない
基地があるから
『守られている』！

元防衛大学校教授 / 本村久郎

4. book

『台湾と沖縄に未来はあるか？』で知る
「尖閣は中国領」と宣言した
中国の狙いは？

5. movie

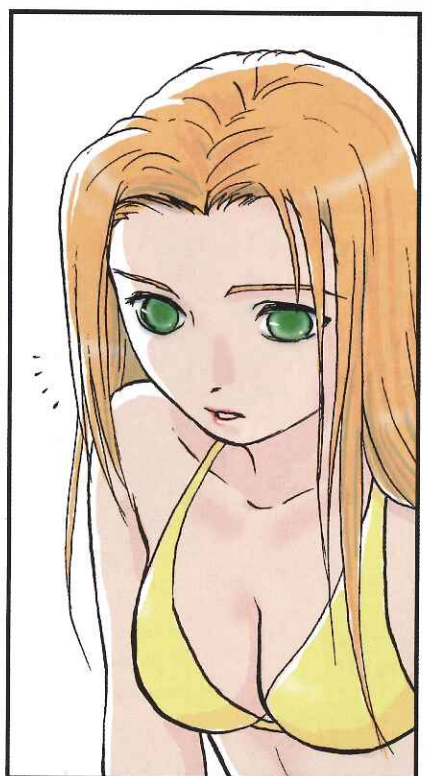
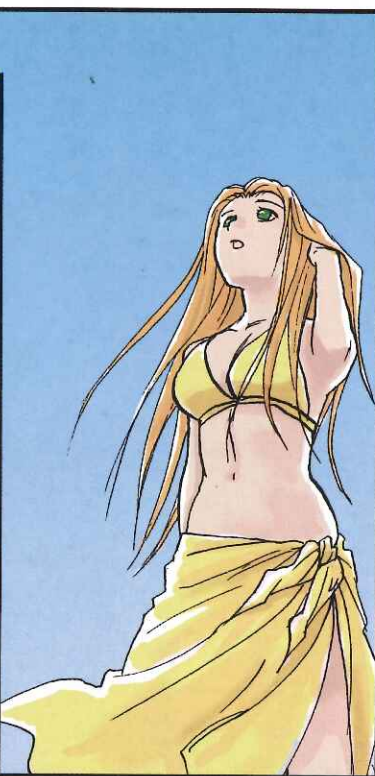
『ファイナル・ジャッジメント』
が描く近未来とは？

6. message

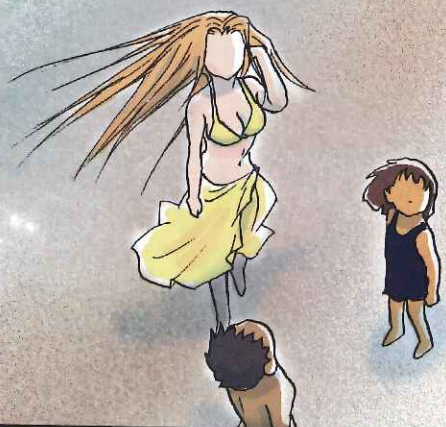
オルホド・ダイチン
(モンゴル自由連盟党幹事長)
トゥール・ムハメット
(中央アジア研究所代表)

沖縄が危ない！ 迫りくる中国の真実

沖縄



2011年3月2日
沖縄・尖閣諸島に
中国海軍機が接近
航空自衛隊が
F15戦闘機を
緊急発進させる
事態が起きた



さらに……
最近見せる
中国の不穏な動きは
どうだ？



中国系の新聞や雑誌
インターネットなどには
「中華人民共和国琉球自治区」や
「中華民族琉球自治区」といった
文字が多く見られるように
なっている

一体
中国は何を
狙っているのか？



中国が
沖縄を
盗ろうと
している

尖閣諸島の近海に

埋蔵量豊富な油田が
あることが解っている

尖閣諸島

油田 ガス田など
地下資源

また
沖縄近海や伊豆
小笠原海域に
「海底熱水鉱床」という
海底鉱物資源の鉱床が
発見されている

まさに沖縄 尖閣諸島は
天然資源の宝庫なのだ

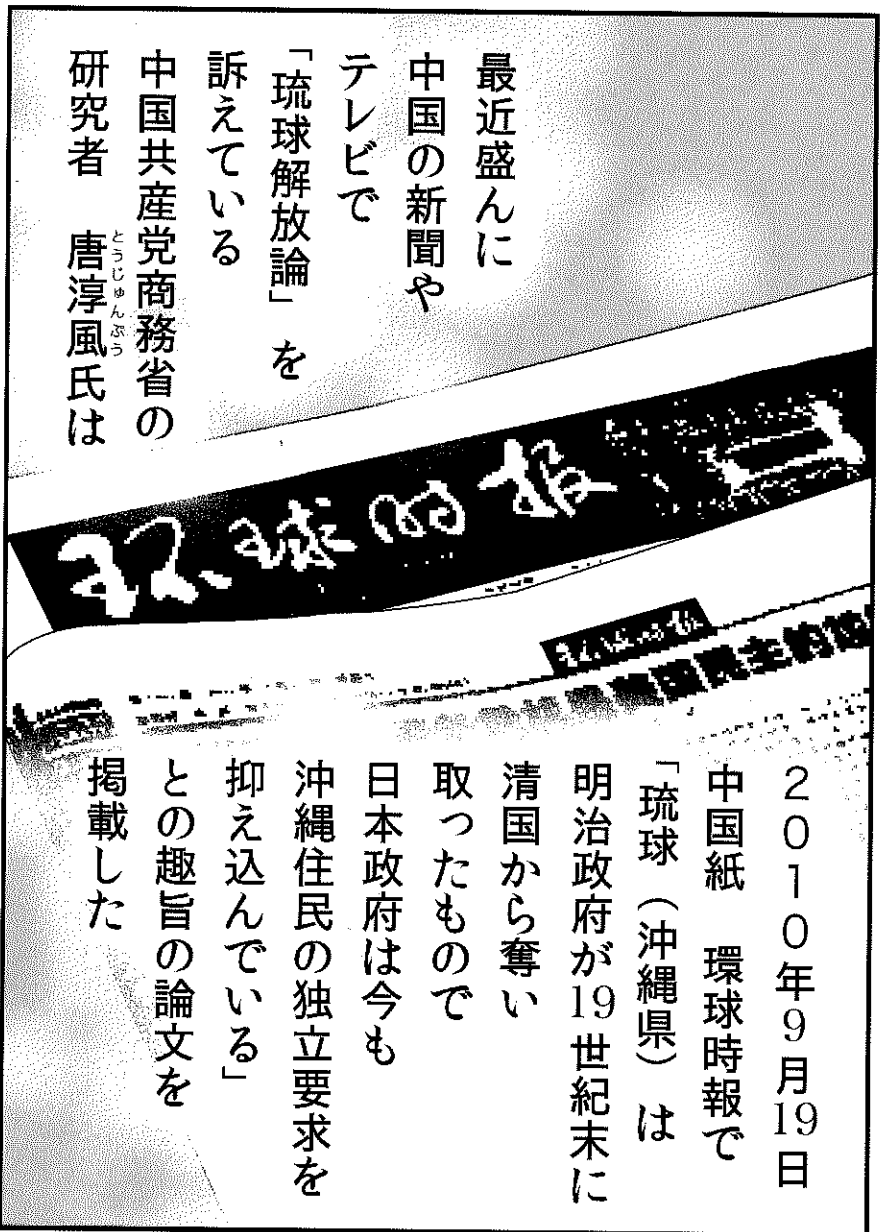
2012年3月

中国の海洋調査・監視船が
尖閣諸島周辺の
日本の領海内に侵入した

尖閣諸島は
古くから中国固有の
領土だと

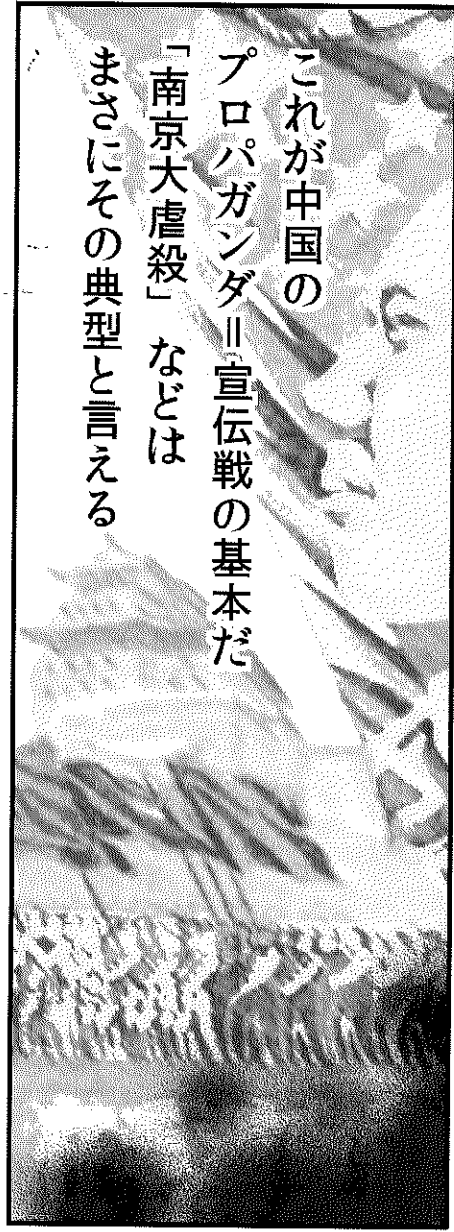
琉球は
中国のものだと

彼らはそう強く
主張している



最近盛んに
中国の新聞や
テレビで
「琉球解放論」を
訴えている
中国共産党商務省の
研究者 唐淳風氏は

2010年9月19日
中国紙 環球時報で
「琉球（沖縄県）は
明治政府が19世紀末に
清国から奪い
取ったもので
日本政府は今も
沖縄住民の独立要求を
抑え込んでいる」
との趣旨の論文を
掲載した



これが中国の
プロパガンダの
「南京大虐殺」などは
まさにその典型と言える

結果

13億人の中国国民の間では

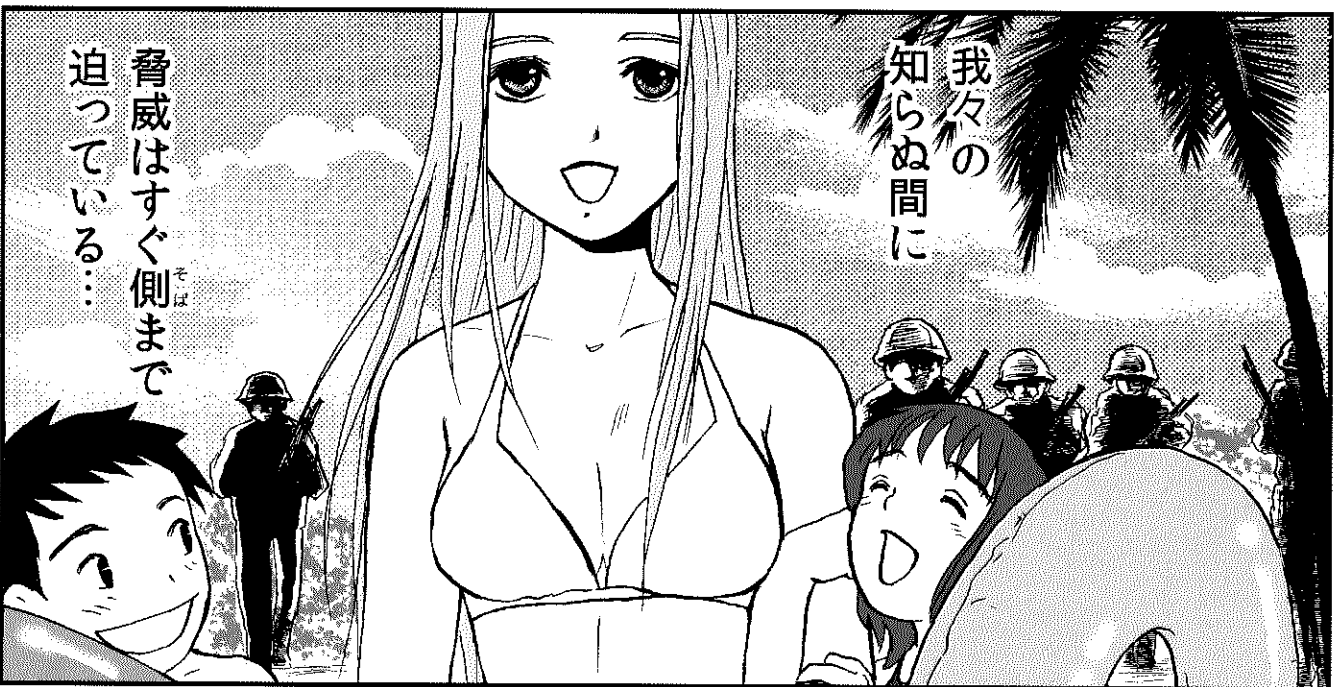
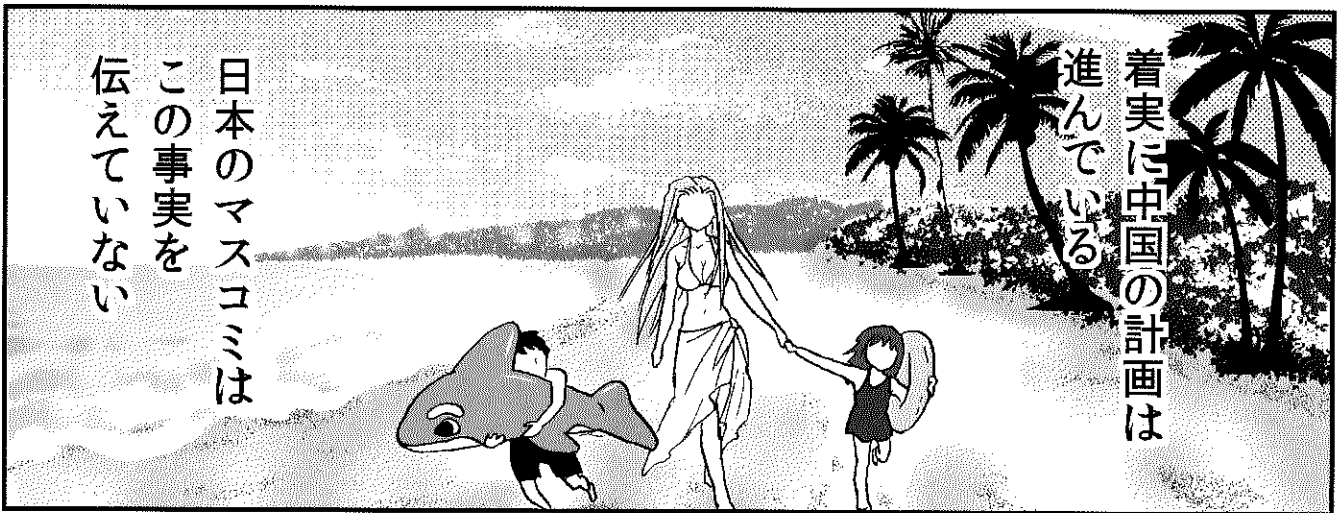
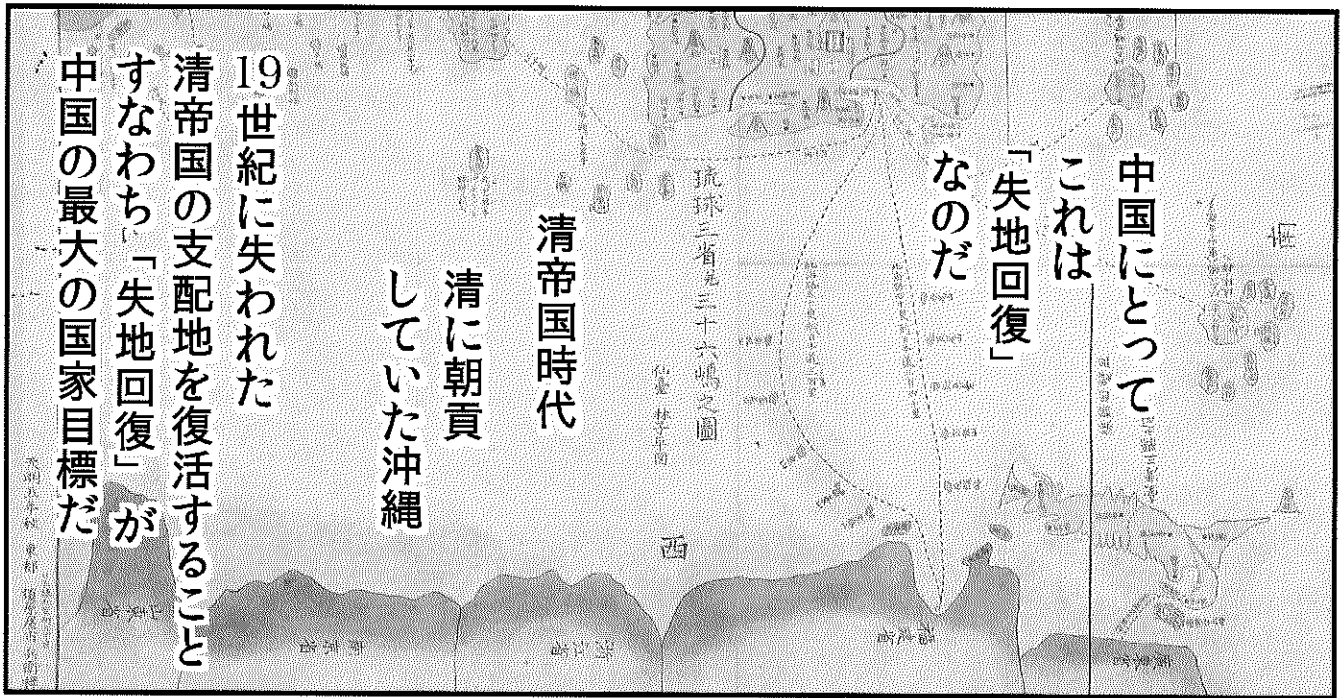
尖閣諸島も沖縄も

「古より中国の固有領土」

であるというのは

「常識」になっているのである





● 私たちの平和と美しい沖縄を守ろう。



沖繩に浸透する
中国の工作活動

昨年7月から中国人観光客に
数次ビザが発給されることにな
りました。「数次ビザ」とは、一
度ビザを取得し沖繩に一泊すれ
ば、90日間日本中どこでも行け
て3年間有効の観光ビザです。以
前の観光ビザでは15日間しか沖
繩に滞在できませんでした。

今、沖繩県は中国人観光客ブー
ムに沸いて
おります。
ここで期待
に水を差す
ようで心苦
しいのです
が、私は今、
沖繩侵略を
もくろむ中
国共産党の思惑通りに事が進ん
でいるということ指摘したい
のです。残念ながら明らかに中国
は沖繩を狙っています。

かつて中国がチベットを侵略
した時の手口。仲間のごとくチ
ベットに介入した中国共産党は、
チベット中央政府に批判的な東
チベットの空気をつくりました。
その結果、東チベットと首都ラサ
とに世論が分断されました。

チベットは仏教国でした。中国
共産党は、お寺に工作員をたく
さん送りこみ「アメリカは宗教の
敵」というデマを流し、その後、
侵略していったのです。当初は多
くのチベット国民は中国政府から
工作活動を受けていることに気付
かなかつたと思います。

どこか今の沖繩と似ているの
ではないでしょうか？

日本を守るために 立ち上がるろう！

沖繩県民への呼びかけ



幸福実現党
沖繩県本部副代表
金城竜郎

「基地負担
を押し付ける
本土の人間は
許せない」
本土と沖繩の
分断。

「米軍は沖
繩から出て行
け」
米軍は

県民の敵であるという感情操作。
「普天間飛行場は最低でも県外を
約束しておきながら、それを裏切り、
沖繩だけに過重な負担を押し付ける
政府は信用できない」
中央政府に
対する不平不満。

中国は今、かつてチベットで
行ったのと同じ工作を、沖繩で
行っているのです。

沖繩を「チベット」には絶対
にしない！

ハインリッヒ・ハラールという
オーストリアの登山家がチベット
で見聞きした出来事がブラッド・
ピット主演の「セブン・イヤーズ・
イン・チベット」という映画になっ
ています。映画原作となった自伝
の中で、ハラールはこう書いていま
す。

「あの当時、世界の屋根にある



チベット自治区セルタに
て、抗議デモ隊に武装警
察が発砲。負傷者をさら
に暴行する警官隊
(チベットNOW@ルン
タ <http://blog.livedoor.jp/rftibet/> より)

平和な国から避難することになろ
うとは、誰が考えたであろう。と
ころが中国軍が雪の国に侵攻して
きた。グライ・ラマは10万人の民
とともに、1951年、インドへ
亡命するために出立しなければな
らなかつた。それからチベットで
起こったことは筆舌に尽くしがた
い。120万人以上のチベット人
が命を失い、6千もあつた僧院、
寺、聖地の99パーセントが略奪さ
れ根こそぎに破壊された。」

映画は、中国では上映禁止にな
りました。一説では、映画に主演
したピットは、永久に中華人民共
和国の支配地域への入国が禁止さ
れているようです。

そして今もチベットの悲劇は止
まっていません。それどころか今、
この瞬間もチベット人たちは自由と
人権を奪われ、塗炭の苦しみの中
に置かれています。

沖繩を絶対にチベットのように
はしてはなりません。

基地があるから『危険』なのではない 基地があるから『守られている』!

元防衛大学校教授

元航空自衛隊幹部学校 教育部長 本村久郎



中国は米軍のいる所は攻撃したくない

「米軍基地があると、中国の攻撃対象になるから危険だ」という考え方は、間違っています。むしろその逆で、中国は、『米軍のいる所だけは攻撃したくない』のです。

なぜなら今の時点でアメリカと戦ったら、中国に勝ち目はないからです。そのことを、中国もわかっている。だから、本当は米軍基地があるほうが安全なのです。



中国の中距離弾道ミサイル

中国は、弱腰の国にはどんどん入ってきますが、強い国には手出しをしない国柄なのです。だから沖縄の海兵隊の存在が、いかにアジア全体の安全保障に貢献しているかということなのです。

もし海兵隊がいなくなれば、すかさず中国は「我が領土、沖縄を取り戻すのだ」と言って、堂々と沖縄に入ってくるでしょう。沖縄を爆撃する手間も省け、既に潜入しているスパイが要人を暗殺し、いとも簡単に沖縄を占領すると思います。

おそらく一週間以内にすべてが終わるでしょう。



米軍戦闘機

日本の政府は「東京に核弾頭を撃ち込むぞ」と言われただけで、すぐに降参するでしょう。

平和のためには抑止力が必要

米軍基地に反対している方々は「基地があれば戦争に巻き込まれる」と主張していますが、米軍基地がなくなつたとしても、中国は



中国共産党の軍隊・人民解放軍

沖縄に侵攻してきます。そして基地跡地をそのまま中国の軍事基地として利用し、日本本土に攻撃をしかけてくるはずですが、基地がなくなつても、平和は訪れません。

「平和」という言葉は、とてもよい言葉です。しかし、「平和」を手に入れるためには、相当な覚悟や努力、負担が必要なのです。口先だけで「平和」と唱えていれば、それが実現するなどという考え自体が問題だと思います。その傾向が、沖縄では特に強いように思います。

戦争が好きな人間など、いません。アメリカ人だって、戦争は嫌いです。いざ戦争になったら、実際に血を流して戦うのはアメリカの軍人です。

だから敵が向かってこないように、戦争にならないように、鍛えるのです。

自衛隊も同じです。中国は、強い国には向かってこないからです。目の前の脅威に備えて、抑止力を高める必要があるのです。



book

『台湾』と『沖縄』—— 外交を誤ればその名が 消えてしまいかもしれない

2012年4月、緊急発
刊された、大川隆法・幸福
の科学グループ創始者兼総
裁による守護霊インタビュー

大川隆法総裁は、あとが
きで、次のように述べてい
る。

『台湾と沖縄に未来はある
か?』は、大反響を呼んだ。

「自由が認められないとい
ろに繁栄は生じない。国とし
ての国家戦略、外交戦略を打

ち樹^たてずして、日本にも未来
はない。映画『ファイナル・
ジャッジメント』（本年6月
公開）のようになるだろう。
今こそ、国民に勇氣と氣概
が必要である。」

日本とアジアの運命をにぎ
る、ふたつの島。そのトップ
の守護霊が明かす驚愕の本心
が明らかになる。

大川隆法
RYUHO
OKAWA



日本、危うし!

馬英九 台湾總統 vs. 仲井眞弘多 沖縄県知事

台湾と

沖縄に

未来は あるか?

「尖閣は中国領」と
宣言した中国が、
次に狙うのは……?」
台湾と沖縄、
二人のトップの驚愕の本心が明らかに!

『台湾と沖縄に未来はあるか?』
守護霊インタビュー
馬英九台湾總統 vs.
仲井眞弘多沖縄県知事
大川隆法著 / 1,470円 (税込)

沖縄が中国に占領され日
本が属国になれば、私たち
日本人は、ウイグル・チベッ
ト・南モンゴル以上に悲惨
な事態に巻き込まれること
になる。「中国の脅威」を直
視しないのが、現在の「沖
縄論」だ。

中国の沖縄侵略シナリオ
や沖縄での工作活動の実態
など、マンガもふんだんに
使いながら、分かりやすく
解説されている。沖縄を愛
する方、真実を知りたい方
への待望の一冊だ。



「迫りくる! 中国の侵略から
沖縄を守れ!」
スペシャルDVDつき
(HRPブックレットシリーズVOL.3)
650円 (税込)

これは
近未来予言だ

『ファイナル・ジャッジメント』 衝撃の中身

ある日突然、日本が占領されてしまった。
そのとき、あなたはどうする？
これは、近未来予言である。



6月2日(土)全国ロードショー!

6月2日から全国ロードショーされ、国民に大きな衝撃を与えている映画『ファイナル・ジャッジメント』が、ついに沖縄でも特別公開される。(6/23(土・祝)～7/20(金) 桜坂劇場にて)

ストーリーは近未来の日本。アジアの軍事独裁国家オウランが日本を占領し、国民の自由が奪われてしまう。常々、オウランの軍事拡張に危機感を覚えていた、26歳の青年・鷲尾正悟は、信仰を守る地下組織「ROLE」と合流するが…人々が希望を失う世界のなかで、正悟や仲間が見つけた、それぞれの役割とは？

これは2012年の日本に「起こりうる明日」を描いた、衝撃の予言映画だ。国や思想の違いが生んだ“憎しみの連鎖”を超えることができるのか…結末はぜひ、劇場でご覧ください。

沖縄へのメッセージ

中央アジア研究所代表

トゥール・ムハメッドさん

「沖縄は日本の領土である」

「沖縄にはアメリカの基地がある」

この2つが、中国から沖縄を守っています。



もし米軍を沖縄から追いだしてしまったら皆さんを待っているのは、我々ウイグル人と同じ運命です。これが私からの、沖縄へのメッセージです。いったん国を盗られたら、それを取り返すのは、とてもとても大変です。

今持っているものを奪われてしまうということは沖縄の皆さんや、皆さんの子孫にとってこれは想像もつかない〈大災害〉になるのです。

私たちはこの60年間、ずっと戦ってきました。国を取り戻すまで、決してGIVE UPはしない。だから沖縄の皆さんも、決してGIVE UPしてはいけない。

今からしっかり自分を守ってください。



ウイグル(東トルキスタン)は、1949年、国の首脳5人を一度に拉致・殺害された上、中国の侵略を受け、「新疆ウイグル自治区」となる。現在までに約160万人の知識人や指導者を含めた人々が処刑され、46回もの地上核実験によって19万人のウイグル人住民が死亡、129万人が後遺症で苦しんでいる。

実際に母国を占領され、言葉も文化も人権さえも奪われた経験のある、モンゴル自由連盟党幹事長・ダイチン氏と中央アジア研究所代表トゥール氏に沖縄県民のみなさんへメッセージをいただいた。

モンゴル自由連盟党幹事長

オルホノド・ダイチンさん

中国は、最初は甘い言葉や、きれいごとを言ってたくみに近づいてきます。そして中国の一部になると、態度を変えて、民族に徹底的な弾圧を加えてきます。



モンゴルも、そうして国を奪われました。気づいたときには、もう手遅れでした。沖縄には、私たちと同じようになってほしくありません。

1947年、内モンゴル(南モンゴル)は中国共産党によって「内モンゴル自治区」として中国に組み入れられる。自治を求めたモンゴル人たちは徹底的な拷問と弾圧を受け、数十万人ものモンゴル民族が虐殺された。



日本奪還

たった一人の勇気が、世界を変える。

製作総指揮 大川隆法

ファイナル・ジャッジメント The Final Judgement

三浦孝太 ムマリ・ティラカラトナ 海東健 / 田村亮 / 宍戸錠
一太郎 水田美実子 飛坂光輝 深澤友貴 水澤愛奏 雲母 / 芦川ましま 志村東吾 並樹史朗

企画：大川隆法 音楽：水澤有一 監督：浜本正機

脚本：「ファイナル・ジャッジメント」シナリオプロジェクト 総合プロデューサー：佐藤直史 小田正鏡 CO・プロデューサー：橋本弘高 飯塚信弘
撮影：谷川剛平 照明：金子康博 美術：丸尾知行 テクニカル・プロデューサー：大塚哲男 録音：横野一夫 装飾：藤田徹 音響効果：齋藤昌利 編集：早野亮
VFXスーパーバイザー：秋山貴彦 衣装：宮本まき江 ヘアメイク：柳原きとこ キャスティング：前島良行 助監督：南村根 山内健詞 製作担当：相良晶
製作：幸福の科学出版株式会社 制作プロダクション：ジャンゴフィルム 混録：日活

2012年6月2日、近未来予言映画 全国ロードショー

www.fj2012.com

© 2012 IRHPress

NIKKATSU

沖縄特別ロードショー公開決

生着 300 名以上に

「ゆんたくシーサー」愛しているから守りたい」VOL.1 2012年6月発行 発行/幸福実現党 編集人/矢内筆勝
お問い合わせ/幸福実現党本部 〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-18 電話03-6441-0754